## Curriculum

2026年度開講科目　※年度当初、変更となる場合があります。

卒業に必要な単位:124単位
- 専門教育科目:76単位
  - 必修:22単位
  - 選択必修:20単位
  - 選択:34単位
- 全学共通科目:30単位
- 広域選択:18単位

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|---|---|---|---|
| 成長のプロセス | 歴史研究を行う専門科目への導入として、日本史のおおまかな流れを押さえ、歴史研究の基礎的方法を学ぶ。 | 2年次から3年次には、各自が学びたい時代・分野に関する専門的知識を習得する。特に日本史史料講読Ⅰ～Ⅴは、実証的に研究するための重要な科目となっている。 | 3・4年次の日本史学演習Ⅰ・Ⅱでは、史料の解読力を身につけるとともに、各自の研究テーマに合わせて、卒業論文を執筆するための調査・研究方法を学ぶ。学びの集大成として、卒業論文の作成に取り組む。 | |
| 必　修 | •日本史学史Ⅰ・Ⅱ<br>•日本史学基礎演習 1 | | •日本史学演習Ⅰ | •日本史学演習Ⅱ　•卒業論文 |
| 選択必修 | •東洋史概説　•西洋史概説　•日本考古学概説　•外国考古学概説　•史学概論（この中から2科目を選択します。）<br>•記録史料学Ⅰ〔古代・中世〕<br>•記録史料学Ⅱ〔近世〕<br>•記録史料学Ⅲ〔近代〕<br>•記録史料学Ⅳ〔近現代〕 | •日本史史料講読Ⅰ～Ⅴ 2（この中から1科目を選択します。）<br>•日本古代史　•日本近世史　•日本現代史　•日本中世史　•日本近代史（この中から1科目を選択します。） | •古文書研究Ⅰ・Ⅱ 3 | |
| 選　択 | | •日本古代史特講Ⅰ・Ⅱ（A/B）<br>•日本中世史特講Ⅰ・Ⅱ（A/B）<br>•日本近世史特講Ⅰ・Ⅱ（A/B）<br>•日本近代史特講Ⅰ・Ⅱ（A/B）<br>•日本近現代史特講Ⅰ（A/B）<br>（4）<br>•外国史特講Ⅰ～Ⅷ（A/B）（アジア）<br>•外国史特講Ⅸ～ⅩⅣ（A/B）（欧米）<br>•外国史特講ⅩⅤ（A/B）（歴史一般）<br>•外国史特講ⅩⅥA（歴史一般）<br>•外国史学文献史料講読Ⅰ～ⅩⅧ<br>•考古学各説Ⅰ～Ⅳ（A/B）<br>•考古学特講Ⅰ～Ⅹ（A/B）<br>•考古学史<br>•日本仏教史 5<br>•日本文化史<br>•西洋文化史Ⅰ・Ⅱ<br>•有職故実 6<br>•日本民俗学<br>•歴史地理学A/B<br>•人文地理学概説<br>•地誌学 7<br>•哲学史 8<br>•仏教美術史<br>•西域美術史<br>•美術史概説 9<br>•ラテン語<br>•ギリシャ語<br>•社会経済史Ⅰ・Ⅱ<br>•仏教史Ⅰ・Ⅱ<br>•政治思想史Ⅰ・Ⅱ | •史料調査実習 | |
| | •日本史概説 | | | |

### 1 日本史学基礎演習

日本史学の研究手法の基礎を身につけることを目指します。導入として、歴史学・歴史研究についての講義を、その後、学生の個人研究と発表を行い、実践的に学びます。

### 2 日本史史料講読Ⅰ～Ⅴ

古代から近代にかけての史料の中から、各時代に関する様々な文書や記録を取り上げ、講読していきます。書かれている内容だけでなく、歴史的背景についても学んでいきます。

### 3 古文書研究Ⅰ・Ⅱ

歴史研究に欠かせないのが、史料から事実を読み解く力です。この講義では中世・近世文書を中心に内容を理解するとともに、花押や料紙、筆跡といった観点についても解説します。

### 4 日本古代史特講Ⅰ・Ⅱ～日本近現代史特講Ⅰ

古代から近現代までの政治や経済だけでなく、交通や宗教、技術やメディアの歴史など、幅広いテーマの講義から選択できます。興味のある分野について、専門的に深く学びます。

### 5 日本仏教史

インドで生まれた仏教はどのように日本に伝わり、そして広まったのでしょうか。インド、中国、朝鮮半島との関わりや、日本の一般民衆の抱える苦悩など、多角的に考察していきます。

### 6 有職故実

有職故実とは、古来の伝統に基づいた朝廷や公家、武家の法令や儀礼、慣習のことをいいます。画像や映像を多く用いながらこれらについて学び、中古・中世の生活への理解を深めます。

### 7 地誌学

地誌学とは、あらゆる要素を加味してその地域性を読み解く学問です。ここでは、日本の地誌を基本レベルまでさかのぼって学習。各地方の特徴を理解していきます。

### 8 哲学史

古代ギリシャから、アリストテレス、カントなど、西洋の哲学者の思考を解説します。物事の本質を突き詰めた彼らの考えを学び、論理的な思考力と、革新的な発想力を養います。

### 9 美術史概説

古代からルネサンスにかけての西洋美術の歴史をたどります。描かれる物や形、出来事から、作品と人々、社会との関係を読み解くその手法は、歴史を学ぶ上での基礎力となります。

## Message

### 江戸の史料から見える暮らしと知の広がり

中学生の頃から日本史が好きで、高校では歴史の先生にすすめられたことをきっかけに、駒澤大学の歴史学科を志望しました。現在は江戸時代を専門とする中野達哉先生のゼミに所属しており、史料が多く、庶民の生活や村の様子まで細かく研究できる点に魅力を感じています。借金の記録や日常の営みから当時の人々のリアルな姿が見えてくるのが面白く、江戸時代が文書社会へと移行する中で、研究の幅の広さも実感しています。

大学に入ってからは、日本史のさまざまな世界を知ることが本当に楽しく、当初は庶民の暮らしに関心がありましたが、最近は江戸時代の天文学や暦にも興味が広がっています。暦は権力者のみが作成できたものですが、庶民の間でも応用され、測量にも関係していた文化で、史料も多く残されています。鎖国下でも外国の情報が少しずつ流入し、近代につながる知の広がりが見られる点に興味を持ち、今後の研究テーマとして深めていきたいです。

鈴木 美紀さん

歴史学科 日本史学専攻 3年
松韻学園福島高等学校 出身

## 1 Week Schedule

［ 2年次 ］前期

| | Mon. | Tue. | Wed. | Thu. | Fri. | Sat. |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | 哲学史 | | 心理学の基礎 |
| 2 | 日本史史料講読Ⅲ | 自然地理学概説 | 中国語ⅡBa | 道徳教育の理論と方法 | 生徒指導論 | 学校図書館メディアの構成 |
| 3 | 中国語ⅡAa | 日本近世史 | 日本近世史特講ⅡA | 生涯学習概論Ⅰ | 考古学史 | |
| 4 | 日本近世史特講ⅠA | 社会経済史Ⅰ | 日本仏教史 | 日本古代史特講ⅠA | 東洋史概説 | |
| 5 | 地誌学 | 教育基礎論 | | 特別活動論・総合的な学習の時間 | 学習・発達論 | |
| 6 | | | | | | |

:学校図書館司書教諭講座　:教職課程